

質問回答

平成 24 年 5 月 20 日

「非自発的住民移転の生計回復・改善ハンドブック」作成調査」

(公告日:平成 24 年 5 月 8 日)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	別紙「第2 調査の目的・内容に関する事項」5.(5) 別紙「第3 業務実施上の条件」2.(1)	現地調査(合計3カ国30日程度)は、全体作業量6MMのうち、5MMが国内作業で1MM程度が現地調査との理解でしょうか。	ご理解のとおりで結構です。
2	別紙「第2 調査の目的・内容に関する事項」5.(5) 別紙「第3 業務実施上の条件」2.(2)	現地調査の人数(単独出張か複数名による同時の出張か)もコンサルタントの提案として宜しいでしょうか。	総MMの範囲内においてご提案いただくことは可能です。追加団員の配置の妥当性等については、契約交渉にて協議させていただくこととなります。
3	5頁 ()航空運賃及びエクセス料金については、別見積りとして下さい。	航空券はプロポーザルで提案した国を想定して見積もりを取り、実際の渡航先が提案と異なった場合には精算対応で宜しいでしょうか。	プロポーザル時の提案・見積もりに基づき契約交渉を行い契約を締結します。国内準備期間において渡航先が最終確定した際、必要に応じて変更契約等の手続きを行うことで対応します。
4	別紙「第2 調査の目的・内容に関する事項」7.(3) 6)	ワークショップの開催場所は JICA 本部等を想定しておけばよいでしょうか。	JICA 本部や研究所等、JICA 施設にて実施を想定しております。
5	4頁 第7 見積価格及び内訳書	各意見交換会・ワークショップの資料作成費用を見積計上しておき、実際の経費と異なった場合には精算対応で宜しいでしょうか。	ご理解のとおりで結構です。

以上